

10 図書・学術情報に関する事項

図書館では、アジアに関する蔵書約110万冊を有するハーバード大学イェンチン図書館(アメリカ)と友好協定を締結し、アジアや仏教研究を中心とした資料の利用、調査、研究など相互協力の推進を図った。

また、本学が擁する7学部1短大1専門職大学院の教育及び研究に必要な図書・雑誌等の学術資料を、各教育主体とともに、精力的に選書・収集した。また、データベース(電子ジャーナルを含む)の充実にも力を注ぎ、これら資料を利用者が効率的・効果的に活用できるように、各種説明会及び講習会を実施した。

その他、環境整備として、深草図書館において入退館ゲートリプレイス、館内備品の入替、閉架書庫内の書籍クリーニングを、瀬田図書館においては入退館ゲートのリプレイスを実施し、図書館内における学修及び衛生環境の改善を図った。また、2007年度から就任した私立大学図書館協会(私立大学図書館で構成される団体:2008年4月1日現在の加盟大学数514校)の監事校として、私立大学図書館の諸活動をサポートする役割を担った。

1) 図書・学術情報を活用した教育支援

◆新入生オリエンテーションの実施

深草及び瀬田図書館では新入生オリエンテーションにおいて、図書館の概要、図書館の使い方、資料の検索方法等、基本的な事項の説明会を開催した。さらに、図書館の利用方法や実際の資料の配架場所等を案内する図書館ツアー(希望制)も実施した。

◆各種データベース講習会の実施

学部生や大学院生を対象に、オンラインデータベースを活用した、図書・雑誌・論文・新聞記事等の基本的な調べ方や、レポート・論文作成・企業情報収集のための情報検索法について、情報メディアセンターと連携して講習会を定期的に開催した。

◆学習用図書の充実

「図書収書計画」に基づき、図書館員(専任事務職員)と、深草図書館にあっては学生アルバイトが学習用図書(基本図書)の選書に努めた。また、学生からの「希望図書」、教職員からの「推薦図書」制度を活用することで、学習用図書の充実を図った。

◆図書館報の発行

『「来・ぶらり」No.37(4月)、No.38(12月)』を発行し、新入生等に配付した。また、HP上でもこれを公開し、図書館活動の広報と利用の促進を促した。

2) 図書・学術情報を活用した研究支援

◆ハーバード・イェンチン図書館との友好協定締結

イェンチン図書館と本学図書館資料の閲覧ならびに調査研究に関して便宜を図る協定を締結し、研究者の仏教文献調査などを円滑に行えるようにした。

◆電子資料の充実

従来の41種類のデータベースと、約1,800タイトルの電子ジャーナルに加え、新たなデータベース「理科年表プレミアム」、「ヨミダス文書館」や「Science Direct」「Springer Link」等の電子ジャーナル約1,200タイトルを加え、利用環境のさらなる充実を図った。

◆古典籍のデジタルアーカイブ化

古典籍デジタルアーカイブ研究センターと連携し、大谷文書をはじめとする貴重資料のデジタル化ならびに情報発信を日常的に行った。

◆学術リポジトリの構築整備

学術リポジトリ（学位論文等の本学研究成果を電子的に登録、蓄積、管理し、広く世界に公開するシステム）の供用準備を行った。

3) 図書・学術情報利用環境の整備

◆図書等資料の充実（資料整備）

2008年度は「図書収書計画」等に基づき、内外併せて約4万点の図書等資料を、計画的に収集することに努めた。その結果、図書館の所蔵資料数は約186万冊となった。

◆大宮図書館の建築賞等受賞

2006年に完成した大宮図書館改修工事は、「歴史ある大学ならではの伝統を重んじる気風が改修に見られ、周囲の建物群との調和を保ちつつ、建物・機能を格段に向上させている」ことが評価され、第24回日本図書館協会建築賞をはじめ数々の賞を受賞した。

◆深草及び瀬田図書館における入退館ゲートリプレイス（備品整備）

老朽化の著しい深草及び瀬田図書館の入退館ゲートのリプレイスを行い、入館ゲートのエラー減少と退館ゲートの誤作動率低下を図った。

◆深草図書館における館内備品の入替と書籍クリーニング

年次計画により深草図書館の閲覧机、椅子の入替を行い、学修環境の改善を図った。また、深草図書館新館地下書庫において、温度・湿度が適正に維持できるよう整備するとともに、衛生環境の面から、黴が発生した書籍のクリーニングを行った。

4) 図書・学術資料の公開と施設の開放

◆図書・学術資料の展観

大宮図書館では、「源氏物語千年紀記念・中古文学会開催記念『王朝文学の流布と継承』」と題し、本学が所蔵する図書・学術資料を、教職員・学生はもとより一般市民にも公開した。また、深草及び瀬田においても、各館企画のミニ展観を行った。

◆滋賀県大学図書館連絡会共通閲覧システムへの参加

滋賀県大学図書館連絡会加盟大学の図書館（12館）において、学生証・教職員証のみで、相互に入館することが可能となった。

◆施設開放

図書館（深草・大宮・瀬田）では、本学のREC会員を対象に、本学卒業生と同等の施設開放と図書・学術資料の閲覧・貸出を行っている。さらに、2007年度に引き続き、瀬田図書館では滋賀県内の高校生に対して図書館の施設開放を実施した。

◆卒業生の図書館利用無料化

卒業生へのサービス向上の一環として母校を有意義に活用してもらうため、これまで徴収していた図書館利用証の発行・手数料を2009年度の利用から無料することを決定した。